

施策評価調書(元年度実績)

				施策コード	I-1-(3)	
政策体系	施策名	児童虐待の未然防止・早期対応等切れ目ない支援	所管部局名	福祉保健部		
	政策名	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～	関係部局名	福祉保健部		
				長期総合計画頁	23	

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	子育ての悩みや不安の解消等、 虐待の予防体制の強化	児童虐待に対する取り組みの強化	児童養護施設や里親など家庭に代わる 養育(代替養育)の充実

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		元年度			6年度	目標達成度(%)						
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125		
i 家庭に代わる養育を必要とする子どものうち里親・ファミリーホームで養育する子どもの割合(%)	③	H26	28.2	33.3	34.8	104.5%	38.0							

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i 達成	里親リクルート活動、里親向け研修の実施、里親のつどいの開催、里親宅への訪問支援やレスパイトケアの実施等により、目標値を達成することができた。		達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・24時間365日対応の専用電話相談窓口(いつでも子育てほっとライン等)において、育児に関する相談に応じ、虐待の未然予防を図った。 (子育て支援・虐待対応協力員の配置数 目標14名 実績14名)
②	・市町村要保護児童対策地域協議会の実務者会議(毎月開催)に児童相談所の担当ケースワーカー等を毎回派遣し助言指導を行うとともに、関係機関での情報共有や対応に係る連携の強化を行った。 (市町村要対協 実務者会議開催回数 目標260回 実績255回)
③	・児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付を実施することにより、施設退所者等の経済的自立を支援することができた。 (貸付件数 R1:28件 前年比-4件)

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(元年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	いつでも児童相談体制整備事業	—	20
②	児童虐待防止対策事業	98.1	20
③	里親リクルート対策事業	130.0	20
	児童養護施設退所者等支援強化事業	90.9	20

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第2回おおいた子ども・子育て応援県民会議(R1.10)</p> <p>・虐待を受けた子どもをたどるとその親も虐待を受けていたということがある。親の育ちを支援することで、虐待の連鎖を防ぐことにもつながる。</p>	<p>○大分県長期総合計画(改訂素案)に対する県民意見(R2.2)</p> <p>・児童虐待の未然防止について、困っている・虐待を受けているお子さんの保護などももちろん大切だが、若い親・虐待をする親やその潜在性のある親への教育・啓発も必要。医療機関や学校組織・自治体組織などとの連携で実現できると思うのでぜひ方針と施策に盛り込んでほしい。</p>
---	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・県内の児童虐待相談対応件数の増加とそれに伴う支援が難しい事例の増加に対応するため、関係機関との連携や児童相談所の法的対応力の強化を図る。</p> <p>・里親リクルート活動員等による里親制度の普及啓発活動等により里親登録数を増加させるとともに、経験豊富な里親が養育補助者とともに里子を育てるファミリーホームの育成を図り、里親委託をさらに推進する。</p>